

# 地域をつなぐ 自治会の『チカラ』

もし、自治会がなかったら…  
自治会の存在意義について考えてみませんか？

なぜ、自治会は必要か。「自治会がなかったらどうなるか」と考えてみてはどうでしょうか。

みんなが使う「ごみ集積所の維持管理は？」いざというときの「地域の防犯、防災対策は？」など個人では解決困難な多くの課題が浮かび上がってくるはずだ。

道を歩けば花壇に花、夜道には防犯灯が照らされていて、私たちが何気なく見る普通の光景は、見えないところで自治会活動に支えられています。さまざまな生活シーンで、私たちの手助けをしてくれているのが自治会なのです。

自治会は、安心で安全な暮らしやすい地域をつくるためにさまざまな問題や課題をみんなで解決し、お互いに協力しながら、支えあっていく最も身近な団体であり、地域にとっては必要不可欠なものです。住民の誰もが安心して生活できる地域をつくっていくために、自治会についてもう一度考えてみませんか。

## 地域に合った取り組みを

自治会の構成は年齢や世帯数、地域によってさまざま。それぞれの地域に合った自治会活動を行うことが大切です。市内には153の自治会があり、いろいろな工夫をしながら活動を行っています。今の特集では、自治会活動について2人の自治会長さんにお話を伺いました。今後、他の事例も紹介していきたいと思えます。

## 「若い人たちが参加しやすい環境づくりを」



福島地区・寺里  
自治会長 金丸 誠二さん

だよりを月2回作成し、配布しています。自治会の活動計画や活動紹介を掲載して情報共有しています。「いつも楽しみにしています」という住民の声を聞くとうれしいですね。

## 自主防災隊を結成

一昨年には、災害時にそれぞれの家庭でどういう協力活動ができるかなどのアンケートを実施しました。その結果をもとに、住民で避難誘導班や医療支援班など5つの班を作り、寺里自主防災隊を結成しました。結成後は、自主防災訓練を実施し、災害時に備

## 若い力も必要

若い人たちも、積極的に自治会活動に参加してほしいですね。現役世代は、仕事をしながらでなかなか参加も難しいかもしれませんが、スポーツなどで交流の場を作ってつなぐ環境づくりを心掛けていきたいと思えます。



3月に実施された防災訓練

えています。今後は、防災隊が有効に機能するかなどの検証を行っていききたいですね。また、いざというときのための災害基金の創設も検討していきたいと考えています。



2年間で作成した自治会通信は43号に

## 自治会だよりで情報共有

寺里地区は戸数が多く、情報の共有がなかなか難しいです。そういうこともあり、「寺里自治会通信」という自治会

## 自治会未加入者へのよびかけ

昨年、自治会長を任せられます取り組んだことは地区内に住んでいる方の把握ですね。地図(写真・下)を作った一軒一軒歩いて回りました。回る中で、自治会への加入状況も確認でき、未加入のお宅へは自治会加入のチラシ(写真・左)を配って回っています。加入を強制することはできませんが、ごみ集積所の管理や街路灯などは、自治会費で賄われているということを分かってほしいですね。



配布したチラシ

## 新たなことに挑戦

今年には防災訓練を実施したいですね。地区には、消防団員もいるので、そういう方たちの力も借りながら防災訓練をできないかと考えています。3月には寺里地区の防災訓練に参加させていただき、勉強

## 高齢者への配慮が必要

1年間歩き回ることを感じたのは、高齢者が多いということ。このあたりの地区は、昔から住んでいる世帯が少ないので市木や都井地区などと比べるとつながりが薄いように感じます。せめて両隣に住むご近所さんくらいは把握して、近所に高齢者が住んでいるのであれば声掛けなどしてつながりを大切にしたいですね。グラウンドゴルフ大

会などで交流の場を作っています。現役世代は、仕事をしながらでなかなか参加も難しいかもしれませんが、スポーツなどで交流の場を作ってつなぐ環境づくりを心掛けていきたいと思えます。



地区内を把握するために手作りした地図

## 「高齢者に配慮した自治会活動が必要」



福島地区・本町2丁目  
自治会長 林 洋一さん

こんな活動  
しています！  
自治会の役割の一部を  
ご紹介します。

## 楽 人と地域の交流

祭りや敬老会、子ども会など、レクリエーション活動を開催し、交流を深めています。



## 守 まちの安心・安全

防犯灯の設置や管理、防災訓練の実施など、安心・安全のまちづくりに取り組んでいます。



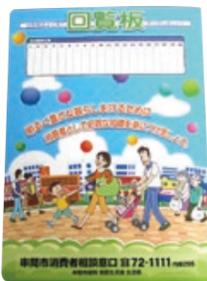
## 美 環境整備

ごみ集積所の管理や地区の清掃活動など、地域の環境整備に努めています。



## 伝 情報共有

市や自治会などからのお知らせを回覧板や掲示板で情報の共有を図ります。



自治会がこれらの役割を果たしていくためには、住民みんなが協力することが重要です。自分の住むまちを支えるのは私たちです。まずは自治会活動に参加することから始めましょう。

● 問い合わせ先 総合政策課  
協働推進係 ☎内線3335